

会 議 録

会議の名称	那珂川市子育て支援推進協議会		
開催日時	平成 30 年 12 月 4 日(火) 9:30 ~ 10:30	開催場所	市役所 2 階 第 2 会議室
出席者	<p>1. 委員 秋峯委員、飯田委員、江島委員、加峰委員、大谷委員、足立委員、萬委員 唐崎委員、Winters 委員(欠席者)平島委員</p> <p>2. 市(事務局) 武末市長、長田子育て支援課長補佐兼子育て支援担当係長、(子育て支援担当職員)永野</p>		
配布資料	<p>資料 1-1: 那珂川市子育て支援推進協議会委員名簿、1-2: 那珂川市子育て支援推進協議会の概要、 1-3: 那珂川市子育て支援推進協議会設置条例、1-4: 那珂川市認可保育所及び認定こども園入所状況、 1-5: 那珂川町子ども・子育て支援事業計画【平成 29 年度実績】、1-6: 那珂川市次世代育成支援 地域行動計画策定業務スケジュール(案)、1-7: 那珂川市子育てに関する調査(就学前)、1-8: 那珂川 市子育てに関する調査(就学児童)</p>		
<p>議題及び審議の内容</p> <p>1. 委嘱状交付 (委員交替者のみ) (市長より) ＜第2号委員＞加峰氏</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>3. 会長あいさつ</p> <p>4. 委員自己紹介・事務局紹介及び子育て支援推進協議会についての説明 交替した委員の自己紹介後、事務局職員が自己紹介 (説明:事務局) ・推進協議会の位置付け ・会議の開催回数、開催日時 ・委員の任期、報酬・手当など</p> <p>5. 報告 5-1 認可保育所の児童数について (説明:事務局) ・平成 30 年 4 月と平成 30 年 11 月の入所児童数について説明</p> <p>【質疑・意見等】 (委員)現状、待機児童が発生していることへの対応策として、保育士の確保を行うとのことだが、施設に余裕があるが、保育士不足なので待機児童が発生しているのか、施設の定員一杯で受け入れができない状況なのかどうか。</p>			

(事務局)保育所の利用定員は決まっているが、国の方針として利用定員の120%までは受入れ可能としている。市内の認可保育所では、ほとんどの施設で100%を超えて受入れを行っている状況であるが、利用定員の120%までは若干の余裕がある。しかしながら、利用定員100%を超えての受入れを市から強要することはできない。保育所によっては、保育士が確保できないので、利用定員以上の受入れができないと言われる場合がある。保育士を確保するための取り組みについては、子育て支援課として今後対応していく必要がある。現状、潜在保育士の掘り起しができないか県と協議している。

(委員)市立幼稚園の認定こども園化についてどうなっているのか。

(事務局)平成30年2月に最終的な方針を決定した。現在、市立幼稚園が3園あるが、幼稚園の教育ニーズは減少傾向にある。それに対し、共働き世帯が増加していることに伴い、保育所の保育ニーズが年々増加している状況。その中で、岩戸北幼稚園、南畑幼稚園を平成34年4月を目途に民間移譲を行い、保育ニーズに対応するため私立の幼保連携型認定こども園とする方向性が定まった。現在は、民営化に向けて幼稚園教諭と協議を行っている。

(委員)小規模保育事業所等の今後の整備計画はあるのか。

(事務局)現状、市立幼稚園の私立認定こども園化を行うことにより、0歳から5歳までの保育ニーズを確保できるものとする。また、市立中央保育所についても平成33年4月を目途に利用定員を10人増やしたところで建替えを検討している。よって、現時点では、これ以上小規模保育事業所を増やす予定はない。しかしながら、来年10月から就学前の教育保育施設における3歳から5歳までの児童に対し、保育料の無償化の方針が決定している。そうなれば、保育を希望する保護者が増加することが予想される。保育料無償化による保育ニーズが増加すれば、何らかの対策を講じる必要があるが、小規模保育事業所は0歳から2歳までが対象となるため、保育料無償化による保育ニーズの増加の影響は少ないものとする。また、現在、待機児童が発生している0歳児及び1歳児について、待機児童解消に向けた取り組みが必要であるとするが、保育士を確保することで、既存の保育施設での受入れを推進していく方針。

5-2 那珂川町子ども・子育て支援事業計画の平成29年度実績について

(説明:事務局)

- ・H29年度の実績と計画を比較して説明

【質疑・意見等】

●教育・保育の量及び提供体制

:意見等特になし

●時間外保育事業(延長保育)

:意見等特になし

●放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

:意見等特になし

●子育て短期支援事業(ショートステイ)

(委員)ショートステイについて、今後の整備計画はどうなっているのか

(事務局)現在、福岡乳児院及び若葉荘と委託契約を結んでいるが、当市にはショートステイを行う施設はない。今後については、市内外を問わず委託先を増やしていく方針。

●地域子育て支援拠点事業

: 意見等特になし

●一時預かり事業（幼稚園）

: 意見等特になし

●一時預かり事業（保育所、ファミリー・サポート・センター）

: 意見等特になし

●病児・病後児保育事業

（委員）病児・病後児の実施状況を詳しく教えてほしい。

（事務局）病児・病後児事業については、かく小児科が行っている。病室については、3 部屋で内訳は 2 部屋：各 1 人、1 部屋：2 人の 4 人まで受け入れ可能。現状、市内で病児・病後児保育事業を行っている施設は 1 施設。

●子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター）

: 意見等特になし

●利用者支援事業

: 意見等特になし

●乳児家庭全戸訪問事業

: 意見等特になし

●養育支援訪問事業

: 意見等特になし

●妊婦健康診査

: 意見等特になし

5-3 平成32年度からの那珂川市次世代育成支援地域行動計画策定について

（説明：事務局）

・今後の策定スケジュールについて説明

【質疑・意見等】

: 意見等特になし

7. その他

（1）次回以降の開催日程について

（説明：事務局）

・第 2 回会議の時期は 1 月予定だが、後日、日程調整させてもらう

（2）議事録の公開について

⇒公開について、異議なく了承